



子供たちの安心・安全のために

校長 瀬戸 隆幸

平成29年度が始まって、あっという間に1か月が過ぎました。今回は、始業式や入学式、毎週月曜日の児童朝会で、私が子供たちに話したことを紹介します。

入学式では、「友達をたくさん作るために、あいさつをしっかりしましょう。」という話をしました。その中でも「ありがとう」というお礼のあいさつが、仲良くなるために一番大切であると話しました。同様の話を児童朝会でも話しました。あいさつは、人と仲良くなるためと、その日一日を気持ちよく過ごすために大切な言葉であると伝えました。『『ありがとう』と言われると、つい笑顔になり気持ちよく生活できます。』『友達の名前を呼ぶときは、呼び捨てにせず、～くん・～さんを付けましょう。先生たちもみなさんを呼び捨てにはしません。』と話しました。別の児童朝会では、ちょっと難しいのですが「人権」について話しました。「人権とは、人が生まれながらにして持つ権利です。」「もう少し簡単に言うと、安心・自信・自由のことです。」「人に親切にされたり、優しくされたりすると安心できます。ほめられると、自信がつきます。安心したり自信がついたりすると、たとえ嫌なことをされたり言われたりしても、『嫌だ』と言って、選ぶ自由が生まれます。」「安心・自信・自由が大切にされた生活が、人権を尊重した生活と言えるのです。』『『あいさつの響きあう学校』『ありがとうのあふれる学校』にして、みんなが仲良く安心できる松林小学校にしましょう。」と話しました。しかし、自由というのは「好き勝手」とは違うということも付け加えました。

また、入学式では「交通事故にあわないように気を付けましょう。」という話もしました。「登下校の道で、どこが危険なのかをおうちの人と話し合ひましょう。」と伝えました。同様のことを新聞記事（芸能人の風見しんごさんが、突然の交通事故でお子さんを亡くしたこと）をもとに、各学級で指導してもらいました。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、また、子供たちの安心・安全を見守っていただき、ありがとうございます。これからも、学校・保護者・地域が子供たちのために、ともに手を携えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、先日はご多用にもかかわらず、授業参観・保護者会には多くの保護者の皆様にご参加いただきました。当日は、子供たちの学校での様子やクラスの雰囲気などを、授業をとおしてご覧いただくことができました。また、そのあとの保護者会でも、「職員紹介」、「学校経営方針」、「羽村第二中学校区での小中一貫教育」などについてお話しさせていただきました。とても盛り沢山な内容でした。授業参観・保護者会は、どちらも短い時間ではありましたが、学校のことを伝えるよい機会となりました。ご参加くださいました保護者の皆様、ありがとうございます。

5月末には、大きな学校行事でもある運動会が控えています。そのための練習や係活動などが始まります。慌ただしさもありますが、このようなときこそ、教員は子供と向き合い、子供と真剣に接していく必要があります。また、その姿を見て、子供たちも「一生懸命に頑張ろう」と意欲をもってくれるのではないのでしょうか。当日はぜひご来校いただき、子供たちの一生懸命に頑張る姿をご覧いただきたいと思ひます。そして大きな声援をお願ひいたします。

明日から巷で言うところの「ゴールデンウィーク」が始まります。この1か月、新しい学年、新しい環境で子供たちもよく頑張りました。見えない疲れも溜まる頃だと思ひます。連休明けに備えて生活のリズム（「早寝・早起き・朝ごはん」など）は整えていただきところですが、ぜひ心と体のリフレッシュをすべく、ご家族で楽しい連休をお過ごしください。

